

3R夢プランの様々な取組



3R夢プランでは、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の取組を進めて、環境負荷の低減を図り、将来の豊かな環境づくりを目指しています。次に挙げた取組はその一例ですが、このプランを進めるためには、区民の皆様のご協力が欠かせません。これからもご協力をよろしくお願いいたします。

リデュース行動

マイバッグ・マイボトル(水筒)などは、今では多くの方が利用していますが、このほかにも、簡易包装や詰替え商品の率先利用、生ごみのたい肥化(※1)、エコクッキング(※2)など、身近にできるリデュース行動はまだあります。いろいろなリデュース行動を見つけて実践してみましょう。

※1 生ごみのたい肥化・・・生ごみを土に混ぜて微生物の力で分解する「土壌混合法」などがあります。
※2 エコクッキング・・・食材の選択、調理の方法、ガスや水道の使用の仕方等すべてにわたり環境に配慮する調理法です。



マイボトル マイバッグ

分別の徹底

どうしても毎日出てしまうのがごみですが、そこで大切なのが分別です。G30から始まり、だいたい定着してきた分別ですが、燃やすごみの中には、まだ多くの資源物が含まれています。

次の写真は、よく間違えられる品目です。それぞれ何に分別したらよいかお分かりですか？ ※答えは一番下にあります。



ア) タッパー イ) レシート ウ) 洗剤の紙箱 エ) わさびなどのチューブ

- 分別項目
① 燃やすごみ ② プラスチック製容器包装 ③ 缶・びん・ペットボトル ④ 古紙

生ごみの水切り

生ごみの約80%は水分です。この水分を減らすことにより、悪臭が減る・ごみが軽くなる・焼却工場での発電効率アップなど多くのメリットがあります。「ごみを濡らさない」「ごみを出す前にひとしぼり」を心がけてください。



手つかず食品の削減

横浜市全体から出される、手つかず食品は年間約2万トン(収集車約1万台分)1人あたりだと約5キロ(5日分の食事に相当)にもなります。「冷蔵庫の中を確かめて買い物する」「消費期限に注意して使い切る」など心がけ、食品ロスを減らしましょう。



年間約2万トン(収集車約1万台分)

小型家電リサイクル・モデル事業

今まで資源化されずに廃棄されていた、レアメタルや貴金属等の有用金属を含む小型家電の再資源化を促進するため、平成25年10月から、各区の区役所や資源循環局事務所で、携帯電話・デジタルカメラなどの小型家電の回収をはじめました。対象となる製品は、30cm×15cmの投入口に入る、長さ30cm未満の電気・電池で動作する製品です。(電球や蛍光灯、パソコンは対象外です)



3R夢キャラクター

より多くの皆様に3R夢プランを知っていただくための啓発キャラクターがイーオです。また、港北区オリジナルのキャラクターとして登場したのが、シボレンジャーGです。



「ヨコハマ3R夢!」マスコット イーオ
性別: なし
誕生日: 3月6日
年齢: 36歳(へら星人の平均寿命1万歳)
出身: 天陽系第3惑星へら(青い星)
趣味: 3R行動。マイボトルは常に持ち歩いている。
好きな言葉: もったいない。スリム。



「ヨコハマ3R夢!」ヒーロー シボレンジャーG

港北区に突如現れたシボレンジャーGは、ヨコハマ3R夢プランを広めるために地球にやってきた謎のヒーローである。まだその姿を見たことがある者は少ないが、今後は港北区内の様々なイベントなどにも登場するはずだ。そしてその秘密も徐々に明らかになるだろう!

【今のところ分かっている事】
・南区、港南区、磯子区に仲間がいる。
・ごみを減らすための必殺技があるらしい。
・子どもが大好き

クイズの答え ア)① イ)④ ウ)① エ)②

港北エコアクション通信

Lets' enjoy KOHOKU eco life!

発行: 港北エコアクション推進本部事務局

港北区区政推進課企画調整係 港北区地域振興課資源化推進担当

Tel: 045-540-2229 Fax: 045-540-2209
Tel: 045-540-2244 Fax: 045-540-2245



ほくほく農業再発見+(ぷらす) 今回は高田地区で花卉(かき)の栽培をされている荏原正和さん取材しました。

100種類のパンジー・ビオラ

—どんな種類の花を育てているのですか。

花の出荷時期は主に3月から6月の春から初夏の時期と11月から12月の秋から初冬にかけての2つの時期に分かれます。11月から12月にかけてはパンジーやビオラ、シクラメンを主に栽培しています。パンジーは花の大きさによって呼び名が分かれていて(最も小さいものをビオラと呼ぶ)、たくさんの種類があり、それぞれ色々な色を持つので、品種数は約100品種くらいあります。お客様の好みも多様なので、たくさんの品種を栽培しています。

シクラメンも鉢の大きさが異なり、ガーデンシクラメンなどの小さなものがあります。シクラメンは11月に種を撒いて、翌年の12月に出荷となり、1年以上かかるのでなかなか気の抜ける時がないですね。最近の流行は花びらの周りがフリルのようなものになります。お客様も常に目新しいものを求める傾向があるので、どんな色や形が流行しそうかということも予測して翌年の種を撒くのが難しいです。お客様の手に渡ってからも良い状態が続くように、土づくりを大切にしています。



都市農業のメリット・デメリット

—やりがいを感じるのとはどんなときですか。

出荷は市場出荷と直売を行っています。横浜地域の品質は優れているという評価をいただいております。お客様も近隣の方から東京方面まで多くの方々に買いにきていただいております。買いに来られた方から「良いね」という声を直に聞けるのがいいですね。良かったと言われれば、責任も感じますし、待っていてくれる人がいると思うと今年も作らなければと思います。

地域で愛される花を作りたい

—現在の課題やこれからの目標を教えてください。

地域美化の活動を続けていきたいと思っています。高田地区は農業専用地区などの農用地で10年ほど前は不法投棄が多く、道路がゴミであふれて車の通行の妨げになったり、放火などの問題が起きていました。地域や役所の方で掃除をし、夜間のパトロールを行うようになったことで不法投棄はかなり改善されました。それがきっかけで道路にプランターを置いて花を植える活動をするようになりました。地域で愛され、地域で使ってもらえるように良いものを作っていきたいと思っています。

(裏面につづく)

■ほくほく農業再発見+（ぷらす）

被災地に花を

一 被災地での活動を教えてください。

横浜の花・果物・植木などの生産者の集まりである横浜市園芸協会花卉部会で被災地に花を届けようという活動を行っています。2年前の春から行き始めて、既に5回行きました。今年の秋も行く予定です。当初は仙台市に行っていましたが、現在は石巻市などにも行っています。内容も仮設住宅でのプランター植えから公園などでの苗植えによる地域美化に重きを置くようになりました。花苗は生産者がそれぞれ出し合って、5千から6千ポットほどを現地までトラックで運んでいます。

被災直後は芸能人を含めて多くの人が支援にきていましたが、現在はかなり減っています。そんな中で継続して活動していることで現地の人の信頼関係ができて、次に来るのを待っていてくれるようになってきました。今後も続けていきたいと思っています。



プランター苗植え

直売所情報

エバラ花園

所在地	港北区高田町1899-1
代表者	荏原正和
電話	591-0827
通話可能時間	10時～17時
営業日時	期間中毎日 10時～17時
営業期間	11月1日～ バンジー、ピオラ/12月1日～ シクラメン
アクセス	車：駐車場3台有り
公共交通機関	高田駅(市営地下鉄グリーンライン)から徒歩10分
備考	地方発送あり



■港北エコパーソン

「太尾小学校学校運営協議会緑化ボランティアの皆さん」

きっかけは不法投棄

一 活動内容を教えてください。

太尾小学校学校運営協議会緑化ボランティアは太尾小学校学校運営協議会の学校支援ボランティア活動の1つで、常時7名のボランティアとPTAの方々で活動しています。

主な活動内容は太尾小学校の屋上緑化、校庭の花壇やプランター、太尾夢ロード(港北高校と太尾公園との間にある遊歩道)の苗植えや水やりなどの管理です。屋上緑化は4年生、プール裏にある田んぼは5年生、夢ロードは2年生と一緒に活動しています。

一 活動を始めるきっかけは何でしたか。

太尾夢ロードはかつて不法投棄のゴミであふれて、人が近づけないようなところでした。それを地域住民と学校、土木事務所が協力して花壇などを整備し、改善する取組が行われました。この取組が活動を始めるきっかけとなりました。当初は地域で管理していましたが、現在は緑化ボランティアが主体となって管理するようになりました。

子どもたちの笑顔からパワーをもらえる

一 活発な活動が続いている理由を教えてください。

学校運営協議会には5人のコーディネーターがいて、学校と家庭と地域の連携の架け橋になっています。このコーディネーターが呼びかけを行い、持続的な活動を行うことができています。

一 やりがいを感じられるのはどんなときですか。

花苗をたくさん購入することは難しいため、植える花を種から育て、こまめに水やりや草取りを行っています。1年間を通じての活動は大変さを感じることもあります。

しかし、活動の舞台が学校で、子どもたちと一緒にできることが何よりのやりがいになっています。子どもたちの笑顔からパワーをもらえるので少く大変でもやってやろうと思うことができます。

環境が人をつくる

一 これからの目標などを教えてください。

学校がボランティアであふれかえるようになればいいと思っています。1年間を通して、毎日何かしら活動が行われていることで大人の目が学校にも増えるので、子どもたちにもいい影響があると思っています。緑化活動もその一環という意識で行っています。「環境が人をつくる」といいますが、花壇が花でいっぱいだったり、ゴミが落ちていなかったりすることで、自然と人間性が育っていくと思っています。



緑化ボランティアのみなさん

■（地域コラム）東急電鉄のグリーンングキャンペーン

『みど*リンク』アクション～東京急行電鉄株式会社～

『みど*リンク』アクションとは

東急沿線全域より公募によって寄せられた企画の中から特に優れた企画に当社が支援を行うことで、「みどり」をきっかけとしたまちづくり・コミュニティづくりを応援する活動です。当社が審査の上、選出したグループそれぞれの取り組みに対し、企画規模等を勘案し、1グループ10万円から100万円(消費税込)の範囲で支援を行います。(基本は物品での支援となります。)

港北区内実績報告

2013年度において港北区内からは3グループを支援しました。

グループ①

〈支援グループ〉

網島西口商店会(筧川宣久会長)

東横線網島駅地域のボランティアグループと一緒に網島駅周辺のフラワーポット、花壇等の手入れをしています。

〈関係コミュニティ〉

グループ・花いっぱいtsunashima、網島モール商店会、(公財)横浜市緑の協会、よこはま緑の推進団体港北区連絡会

〈支援品と効果〉

網島駅西口のウエストアベニュー通りにデザイン性の高いオリジナルフラワーポット13基を支援しました。駅前が明るく華やかに変身しました。



網島オリジナルフラワーポット

グループ②

〈支援グループ〉

網島バリケン島プロジェクト(亀田佳子代表)

東横線網島駅自然環境を維持するために、外来植物の駆除、クリーンアップ、自然観察会など、親子のふれあいイベントをしています。



〈関係コミュニティ〉

NPO法人鶴見川流域ネットワーク、近隣の親子

〈支援品と効果〉

網島駅近く、大綱橋が架かる鶴見川の左岸にある寄り洲バリケン島での在来植物育成、自然観察会等で必要な道具・機材、テントを支援しました。真夏のイベントでは支援品が大活躍しました。

グループ③

〈支援グループ〉

大倉山夢まちづくり実行委員会(植木貞夫代表)東横線大倉山駅大倉山公園梅林周辺の案内看板の整備や桜の植樹、桜まつりの開催など、花と緑を大切にしたいまちづくりを推進しています。

〈関係コミュニティ〉

太尾地区連合町内会・エルム通り商店会、太尾地区社会福祉協議会、港北区役所区政推進課、港北区土木事務所公園係、港北水再生センター、近隣町内住民

〈支援品と効果〉

花の苗、桜の苗木を支援しました。大倉山エルム通り歩道にフラワーポットを設置し花鉢を入れ、駅前花壇にも色彩豊かな花の苗を植えました。2014年2月には、港北水再生センター前の通りで桜の植樹を予定しています。



支援グループ募集について

現在2014年度『みど*リンク』アクション支援グループを募集中です。

東急沿線の街が、もっと明るく、もっと楽しく、もっと元気になる企画、お待ちしております。応募の締切りは、12月31日です。詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://www.mido-link.com/>



大倉山フラワーポット



網島外来植物の駆除